まちレポ Town Topics

まちのできごとレポート

7/27 加工用トマト夏のしゅん初出荷

天候に恵まれ美味しいトマトが採れました

北のほたるファクトリーで、今年も加工用トマトの受け入れが始まりました。今年の初入荷は山田光夫さん（沼田３）で、約３５０kgの真っ赤なトマトの入荷がありました。

山田さんは「今年は雨が少なく水の管理が大変でしたが、病気の心配が少なく良いトマトが採れました」と話し、初入荷にあたり横山町長から「暑い日が続きますので、どうぞ体に気をつけて収穫作業に励んで下さい」と感謝の言葉と初入荷に伴う感謝の品が贈られました。

7/31 あしもい動物の森

珍しい動物がいっぱい来たよ！

恵比島駅前で、ノースサファリサッポロのふれあい移動動物園とキッチンカー販売の催しが行われました。

これは、地域おこし協力隊の村上信吾さんらが、恵比島駅周辺をもっと多くの人に知ってもらおうと、開催したものです。

会場には、約 400 名の方々が訪れ、ニシキヘビや陸ガメ、ミーヤキャットなどの動物と触れ合い、またキッチンカーで販売された、かき氷などを購入して真夏の休日を楽しんでいました。

企画した村上さんは、「恵比島には、まだまだ町民にもよく知られていない魅力的な場所がたくさんあります。温泉に行く途中でもあるので、これが恵比島に来るきっかけ作りになれば。」と話していました。

7/31 健康ブランド事業健康測定会

いつまでも健康でいるために

健康をテーマに町民にモニターになって頂き、どれだけ効果があるのかを調べる「健康ブランド事業」の最初の測定会が暮らしの安心センターで開かれ、111 名の方々が参加されました。

これは、沼田町の健康ブランドの確立を目的として、総合化学メーカーの株式会社カネカと連携して取り組む事業です。

今後モニターの方はサウナ入浴、トマトジュースの飲用やカネカのコエンザイムＱ 10 服用などを一定期間継続し、健康測定を行い違いを調べていきます。

8/2 サマーデイキャンプ

みんなで料理しました

田島公園で教育委員会主催のサマーデイキャンプが行われ、２４名の小学生が参加しました。

これは、キャンプ体験を通じて共同生活におけるルールを理解し、自ら行動できる力を身につけることがねらいです。

当日は、地域おこし協力隊の大竹将太さんらがキャンプアドバイザーとして、子ども達に野外炊飯や染め物体験を指導し、子ども達は、初めての体験にとまどいながらも、みんなで取り組み、コロナ禍でありましたが、夏休みの良い思い出となりました。

8/3 認定こども園に野菜のプレゼント

野菜を食べて夏を乗りきります

認定こども園に沼田町そ菜振興協議会（広田和行会長）から、ブロッコリー（２０個）、ミニトマト（６キロ）、メロン（８玉）等、たくさんの野菜や果物がプレゼントされました。

これは、新型コロナ感染症の影響のため、認定こども園の年間行事が満足に出来ず、園児が寂しい思いをしている事を聞き、地元の子ども達に沼田町産の野菜をたくさん食べて元気になってもらい、地元野菜をもっと知ってもらおうと、協議会が企画したものです。

寄贈にあたり、広田会長から「沼田で採れた野菜を知って頂き、みんなで大切に食べて下さい」と話されました。

8/4 木工クラフトショップ

自然に親しむ時間を増やそう

８月４日（水）から７日（土）の４日間、ほたる学習館南側広場にて、「まるごと自然体験プロジェクト」事業の一環として木工クラフトショップが開催されました。

これは、木工クラフト作家の長野修平氏（神奈川県相模原市在住）がワーケーションとして沼田町に滞在し、沼田の自然を楽しみながら、温泉やキャンプに訪れた親子や町民の方々に、キャンプの楽しさとキャンプ用具の使い方などをお話したり、木を削って自分のマグカップやスプーンを作ることなど、もっと自然に親しむ方法を知ってもらうことを目的としています。

長野氏は、何度も沼田町に訪れており、６月には森遊びサポーターと一緒に木のテーブルと椅子を作製し、ほたる学習館のコワーキングスペースで使用されています。

長野氏は「沼田町では、毎回いろいろな方々と交流させて頂いています。今後、この場所で様々な自然体験が出来て、人々の交流の拠点となることを期待しています。」と話されました。

8/8 森の中で思いっきり遊ぼう
木育フェスタ in 沼田町

ほたる学習館の北側の森で、「木育フェスタ・イン沼田町」が開催されました。

これは、ＮＰＯ法人いぶり自然学校の主催事業で、町等が共催して、「ほろしんの森」の中で自然体験事業を行ったものです。

町内外から親子 25 人が、木を削ってフォークの柄作りや、薪割りの体験など、自由にプログラムを選んで参加していました。

イタヤの木にフォークの先を取り付ける体験では、児童が自分の手に馴染むまで木を削り、自分だけのフォークを完成させ、夏休みの思い出の作品として嬉しそうに持ち帰っていました。

8/16 お盆と言えば
第 66 回北海よされ盆踊り大会

盆踊り大会が８月１６日（月）とむとむ広場で新型コロナウイルス感染症に配慮し、時間短縮するなど感染対策を講じた中で開催されました。

午後６時から子供盆踊りが始まり、引き続き大人盆踊りが行われ、参加者はお盆の風物詩を楽しみました。

8/18 安心してワクチン接種出来ました
「えがお」でワクチン接種無料預かり事業

小さなお子さんを抱える保護者が、新型コロナウイルスワクチン接種を受ける場合、子育て交流広場「えがお」で、お子さんを無料でお預かりする事業を行っています。

この日、利用された保護者は「預かって頂き、本当に助かりました。まだ子供が小さいので、機会があればまた利用したい」と喜ばれていました。

8/22 幌新の森で元気に育て！
第２回森のようちえん

第２回の森のようちえんが、幌新地区のほたる学習館北側の広場で行われ、この日は親子５組１２人が参加、森の中の昆虫採取や、薪割り、火おこしなどを体験しました。

その後、切った薪で焚火をし、串に刺したマシュマロをあぶったり、トウキビを焼いて食べるなど、残り少ない夏を体感しながら、家族で楽しい時間を過ごしていました。

8/24 小学生がメロンの皿敷き体験

綺麗なメロンになる事を願い

沼田小学校（中川浩之校長）の４年生 13 名が、６月に植えたメロンに皿を敷く体験を行いました。

これは、農業女性グループ「農天気の会」（藤村富士子代表）が、メロンの育成等をとおして、子ども達に農業の良さ等を知り、食べ物の大切さとやさしい心を養ってもらおうと毎年実施されています。

児童達は、約２カ月で大きく育ったメロンに驚きながら、皿を１枚ずつ丁寧に敷き、その後、農業改良普及センターからのクイズに挑戦したり、「メロンの網目は､植えて何日くらいから出来ますか？」など､班ごとに質問を投げかけていました。

9/3 遠足で留萌本線に乗りました

小学６年生が乗車体験

沼田小学校の６年生１３名が、秩父別町のキッズスクエア「ちっくる」までの遠足を行い、帰りは秩父別駅から留萌本線を利用し帰路に着きました。

留萌本線には、全員乗車経験はありましたが、秩父別駅からの乗車は、ほとんどの児童が初めてで、児童達は車内での会話に気を使いながらも、実りの秋を迎えた田園を眺めながら、楽しそうに石狩沼田駅までの乗車時間を過ごしました。

また児童達は乗車中、「車よりもＪＲの方が楽しい。高校に行く時に列車が無いと困るので、無くならないでほしいな」と口々に話していました。

9/4 沼田中学校文化祭

開催できた事に感謝しながら頑張りました

沼田中学校の文化祭が、今年も新型コロナウイルス感染症に配慮し、感染対策を講じた中で開催されました。

開催にあたり米倉卓司校長から「今日の皆さんの緊張やドキドキ感は、きっと将来必要なものとなるので忘れないで下さい」と挨拶し、３年生の松尾優花生徒会長から「いよいよ文化祭の日が来ました。開催出来たことに感謝しつつ、これまで練習してきた成果をみんなで楽しみましょう」と呼びかけました。

文化祭は、壁新聞などの作品発表や演劇等が行われ、「ステージ発表」と題し「沼田の未来に必要なもの」をテーマに、それぞれ調査した成果を発表しました。